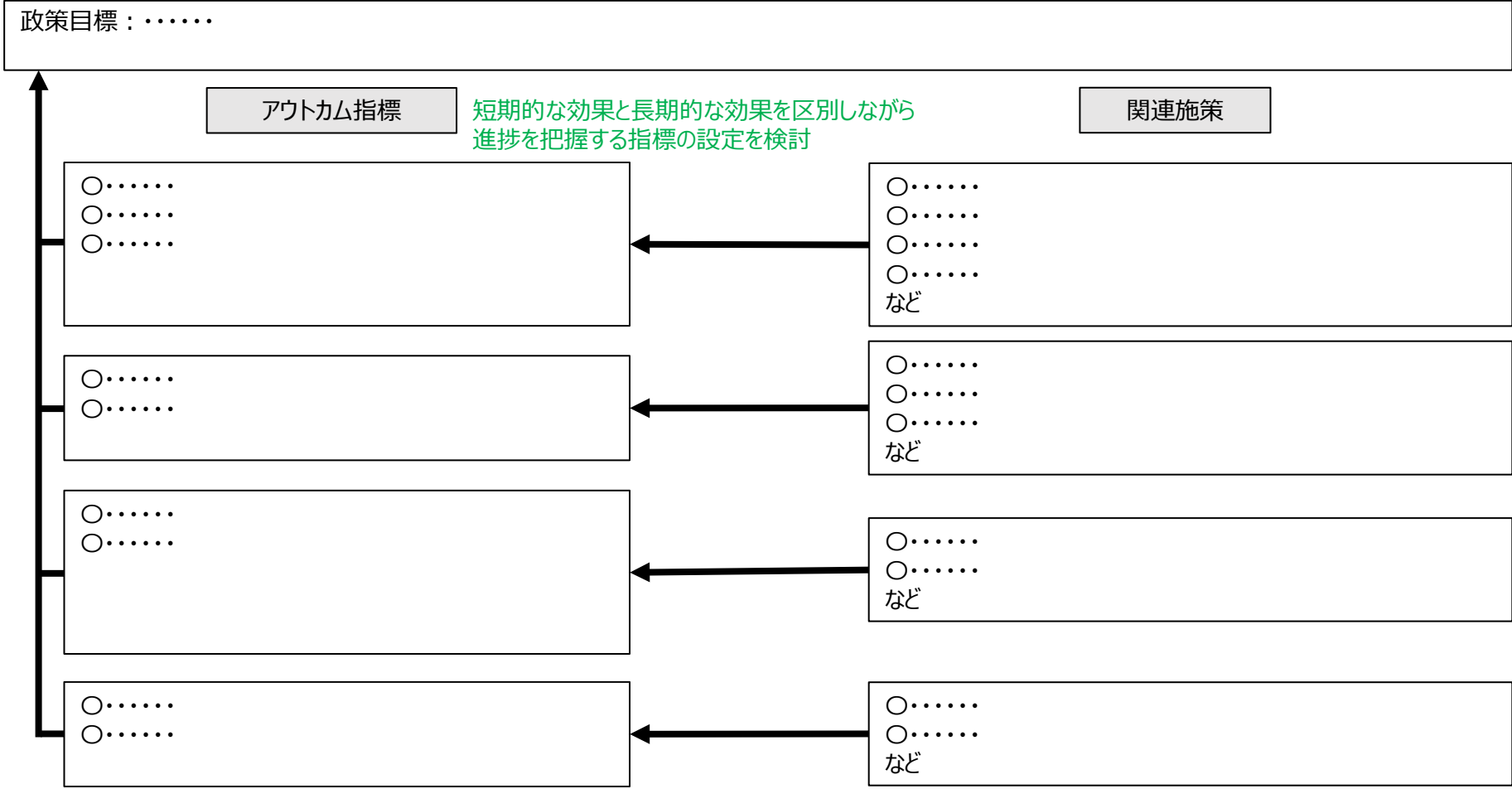


「EBPMアクションプラン」(様式案)

各テーマについて、今後の議論を通じて深掘りしていくことを想定(2ページ以内に収める必要はない)。

【重要政策・計画名を記載】

1. 政策体系の概要 政策目標、関連するKPI、施策をツリー形式で整理



2. 検証事項

エビデンス整備方針の「検証事項」を踏まえて記載

3. 分析・検証方法、用いるデータ等 エビデンス整備方針に記載した内容を深掘り

| | 確認するエビデンス等 | 分析・検証方法 | 用いるデータ等 |
|---|----------------|--|--|
| A | 〇〇と△△の因果関係 | <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇と△△の間の因果関係に係る先行研究のサーベイを実施。 ・XXの変動要因の詳細を分析。 | <ul style="list-style-type: none"> ・XX問題に関する国内外の先行研究 ・政府統計の調査票情報、行政記録情報 |
| B | XX支援策が□□に与える効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇プロジェクト」（仮称）を通じて、XX支援分野において、先進的な取り組みを実践するモデルを探索し、調査・分析・研究を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・介入群は「〇〇プロジェクト」（仮称）の参加者から、対照群は政府統計の調査票情報からパネルデータを収集。 |

4. 分析・検証体制 エビデンス整備方針に記載した内容を深掘り

- ・（A）の分析・検証においては、民間事業者に先行研究のサーベイを委託。エビデンスが不足している分野については、XXアドバイザリーボードの構成員と連携してデータ収集、分析・検証を行う体制を構築。
- ・（B）の分析・検証においては、「〇〇プロジェクト」（仮称）を通じて調査・分析・研究を実施。△△総研を事務局としたうえで、□□大学（●●教授）と共同研究を行い、事前の調査設計から事後的な分析・検証までを実施。

5. ロードマップ エビデンス整備方針に記載した内容を踏まえて工程化

| 分析・検証 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度以降 |
|----------------|---------------------|------------------------|--------|-------------|
| A. ロジックモデルの有効性 | 先行研究のサーベイ | データ収集（行政記録情報のオープン化を含む） | | |
| | | 分析・検証 | | ロジックモデルの見直し |
| B. 各種施策の効果 | 「〇〇プロジェクト」（仮称）の調査設計 | データ収集（介入群と対照群） | | |
| | | | 分析・検証 | 施策の改善 |

6. エビデンスの政策見直しへの活用方法 新規に記載

当該エビデンスを〇〇審議会にフィードバックし、「△△実行計画」の進捗管理や、居住地域・所得階層などの属性の違いを踏まえた効果的なXX支援策の実践に活用。